



経験談
01

小学校から不登校、
部屋に引きこもり

経験談
02

学校に行かない自分、
勉強に遅れていく自分

経験談
03

金髪に染め、眉毛は
全部剃り、夜遊びに

もともと人間関係も得意ではなかった。無理に学校に通わそうとしてしまい親子関係もうまくいかなくなってしまった。こどもは部屋に引きこもるようになってしまった。

後ろめたさを感じ、ダメな自分を攻める。どこかで自分を変えたいという気持ちを捨てきれずにいるが、抜け出し方もわからなければ、もう失敗をしたくもない。

中学後半から別人の様に豹変。友人関係も言葉遣いも、生活態度も180度変わった。家の壁は穴だらけ。まるで家の中に他人が上がり込んだよう。

2018年 教育講演・相談会



同じ経験をした仲間の「生の声」を聞いてみませんか？

子 育ての悩み。なかなか周りに相談できないことだと思います。本校は1984年以来、不登校・高校中退経験者を受け入れてきました。「教育をひとりで営むことは難しい」という認識のもと、親・教師・寮管理人、たくさんの人のかかわりの中で教育活動を行なっています。この相談会も、教師だけでなく、PTA、卒業生も集います。きっと、同じような経験をした仲間がいます。ひとりで悩まず、まずはご参加ください。

開催日時

10月8日（月・祝）13:30-17:00

エル・おおさか

大阪府大阪市中央区北浜東3-14

タイムテーブル

13:30-14:45 トークタイム



本校の概要を紹介。その後、卒業生やPTAに当時の振り返りや、それらを経た今の生活を語ってもらいます。経験者の声を聞きながら、育ち、成長、集団で生活することについて考えます。

[パネラー] 教諭2名、卒業生2-3名、PTA1-2名

15:00-17:00 個別面談

ご希望の方に、教員による個別面談を行います。待ち時間は、PTA、卒業生と直接お話しいただけます。

〒046-0003

北海道余市郡余市町黒川町19丁目2-1

☎ 0135-23-2165

✉ tanaka@hokusei-y-h.ed.jp

お問い合わせ

全日制普通科高校

北星学園余市高等学校





あたらしい仲間、
あたらしいまち、
あたらしい自分。

2018年 教育講演・相談会

北星学園余市高等学校
www.hokusei-y-h.ed.jp

糸口がみつかることを願って。

経験者の生の声を聞いてみませんか？高校中退、不登校、引きこもりだったこどもたち、そしてそのこどもに寄り添った親御さんの話を通じて、見えてくるものがあります。「何かヒントになるかも」という気持ちで、お気軽にご参加ください。こどもの未来を考えるひとつの機会として。糸口がみつかることを願って。